

②溝口北露頭

1 溝口北露頭の位置

中央構造線の溝口北露頭は、伊那市長谷の美和湖（ダム湖）に半島状に突き出た北側の崖にあります（図-1）。

国道152号線脇の長谷中学校入り口を湖側に入り、道なりに行くと東屋があります。

溝口北露頭（写真-1）は近年になって整備された露頭です。



写真1 溝口北露頭全景



写真2 溝口北露頭の中央構造線および新しい活断層がはしる部分

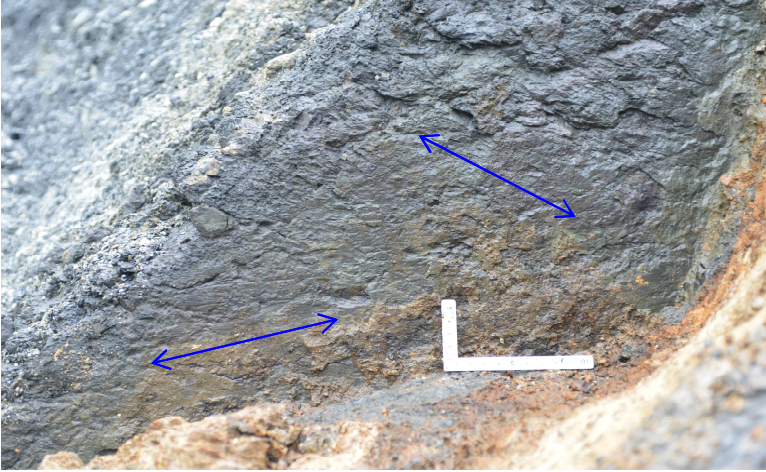


写真3 断層面に残る傷痕



写真4 断層に挟まれた礫

2 断層面に残る削痕

この露頭では、中央構造線は観察路のあたりを通過していますが、明瞭に見えません。

中央構造線の東に約1m離れたところに直線の断層が認められます。

これは中央構造線に沿ってできた新しい活断層です。

断層面を調べると、石同士がこすり合っただけで出来る削痕が斜め方向に認められました。

3 断層に挟まれた礫

この断層が活断層である証拠として、断層がはしる基盤岩（固い岩盤）の上位にある三峰川が運んでためた礫の一部を断層の間に挟み込んでいました。

礫層の年代は、含まれるテフラから6万年前以降のものと考えられています。この活断層は、6万年前以降に活動したことがわかってきました。

